

## Ⅱ 事業の概要

### 法人

(理事会機能の充実)

毎年、厳しく変化する私立学校を取り巻く環境に適切に対応し、様々な課題に対して主体的、機動的に対応していくため以下の課題を設定し、検討並びに実施することを計画しました。

- ① ガバナンスについて
- ② 実効性のある中長期計画の策定
- ③ 部門ごとの経営（運営）委員会の充実

#### 1 ガバナンスについて

本学園のガバナンスの在り方を探求するための一環として役員、評議員及び事務局員を対象に次の研修会を実施しました。

- ・ 2011年7月8日（金）研修会を開催し大学から学童クラブまで6部門について、それぞれの部門責任者より教育・保育内容について説明を受けその後に質疑応答が行われました。
- ・ 2012年2月24日（金）本学園会計担当の外丸利行事務局主任を講師に、同講師が作成した会計解説書を基に研修会を実施しました。本学園に係る具体的な数値を用いて分かりやすく解説し、有意義な研修会となりました。

#### 2 実効性のある中期計画の策定

学童クラブから大学まで6部門の財務を中心とした、5ヶ年（2012～2016年度）中期計画書を作成し、11月25日の理事会及び1月27日開催の評議員会において承認されました。

基本的に学園の諸事業はこの中期計画に基づいて実行されますが、今後の課題はPDCAサイクルの作業を確立し、その事業計画を検証することにあります。

#### 3 部門ごとの経営会議（委員会）の充実

「中学・高校財政問題改革委員会」、「幼稚園企画運営委員会」、「保育園企画運営委員会」のほか、2011年度より「学童クラブ企画運営委員会」を立ち上げ機能しています。

いずれの委員会も理事長が議長となり、それぞれの部門の役職者と本部事務局職員が委員となって諸課題に対応している。園児・生徒の確保、財政の安定及び施設設備の充実などに一定の成果を上げています。

(学園総合グラウンドの機具庫及び一部の植樹計画)

総合グラウンドにおいて使用する備品を収納するための器具庫（プレハブ）を、自動販売機に隣接して2棟設置しました。

植樹については予算化していたものの、豪雨になると勾配の関係もあってトラック外側の緑色スクリーニングスを押し流すなどの課題が露見したことから、植樹の予算を流用しグラウンド南側にU溝を設けて勾配を緩やかにするなどの工事を行いました。

(学園総合グラウンド完成に伴う献堂式と記念行事)

同グラウンド完成に伴い、この竣工式を5月28日(土)大学チャペルにおいて実施しました。出席者は用地提供地権者、城南地区自治会役員、学園外郭団体役員、本学役員・教職員など約150名でした。式典の後、大学食堂において茶話会を催しました。

なお、記念行事として、この式典に先立って本学高校サッカー部とザスパ草津U23との記念試合を開催しました。

(小学校設置調査)

2011年度中に同調査の終了を予定していましたが、事務局業務が大学4号館建設とも重なり、関東周辺の私立小学校の設置状況調査や新設校の図面は入手したものの、コンサルト会社へ調査依頼するまでには至りませんでした。

(幼稚園南側用地の取得)

幼稚園南側に位置する剣刻(なたぎり)薬師西側の小屋原町自治会所有地約73坪については、自治会役員より、解決の見通しができたので2011年度中に売買を履行したい旨の申し出がありましたが、二人の地権者のうち一人の方からの承諾が得られず、結果として取得できませんでした。当分の間、取得は難しい状況にあります。

(岩神キャンパス跡地への記念碑建立)

旧岩神キャンパスについては前橋医師会が前橋市より取得、この場所へ看護学校を設置することが決定し、建設工事も終えて2012年4月より開校しました。

このことに伴い、同医師会と記念碑建立について交渉を行った結果、旧正門付近へ高さ1.20m、幅90cmの記念碑を建立することの合意が得られました。

ただし、先方の外構工事の関係もあり、実際の建立は2012年6月中旬となる予定です。

(本部付け労務職員の採用)

本部付けの労務職員を1名増員採用しました。主に幼稚園園児送迎用マイクロバスの運転、大学防犯用対策用マイクロバスの運転、新設総合グラウンドの施設管理業務を2名で担当します。

## 大学

### (入学の状況)

特待生制度や奨学金の充実、広報活動、募集活動の積極的な展開などにより、定員以上の学生を確保することができました。

### 2011年度 コース別入学概況 (入学定員 225名、編入学定員 5名)

	国際社会専攻				地域児童 教育専攻	計
	英語	国際	情報経営	人間文化		
応募者	168 (0)	82 (0)	109 (5)	110 (4)	87 (0)	557 (9)
合格者	99 (0)	48 (0)	62 (4)	72 (0)	58 (0)	389 (4)
入学者	77 (0)	32 (0)	54 (4)	53 (0)	35 (0)	251 (4)

( ) 内数値は編入学の内数

### (専任教員人事)

2010年度末に教授1名(情報)が退任し、2011年度より講師1名(情報)を新規採用しました。この結果、専任教員は33名で前年と同じになりました。

### (専任職員人事)

非専任職員(主に専門職)の増員はありましたが、専任職員の就退任は特になく24名体制となりました。

### (4号館の建設)

大学4号館(共愛コモンズ)建設は、乾設計事務所によって前年度末までに基本設計並びに実施設計図までを完成させることができ、3月22日には8社が参加して説明会を行いました。

2011年度に入ってから、建設工事が次の日程によって進められ、年度末には一部の外構工事を残して完成させることができました。この間、学内の4号館建設委員会とキャンパスデザイン部会の合同による会議が頻繁に開催され、工事の進捗に伴って発生する様々な案件について検討を重ね解決を図りました。

- ・ 4月18日 3JV(大林建設:冬木工業、鹿島建設:小林工業、佐田建設:池下工業:立見建設)より見積書提出(4JVの予定が戸田建設の辞退により3JVとなる)
- ・ 4月26日 3JVによるプレゼンテーション(理事長、学長に一任される)
- ・ 4月28日 乾設計事務所、学長、理事長とで協議の結果、鹿島建設:小林工業JVに発注する方向で調整される
- ・ 5月20日 定例本理事会にて鹿島建設:小林工業JVに発注することが決定。
- ・ 6月8日 定礎式を挙げる
- ・ 2月28日 前橋市消防検査
- ・ 2月29日 前橋市行政検査
- ・ 3月7日 施主検査

完成した建物は、白を基調とした瀟洒な建物となり、建築界からも注目され多くの専門家が見学に訪れています。また、学生及び教職員の感想は概ね好評で、学生の居場所にもなっています。

#### (特待生を含む奨学金の改定)

資格特待生を含む奨学金を抑制するため、財政問題改革委員会（委員長 学長）において検討を重ねていますが、これまでの特待生・奨学金制度を全面的に見直して、2012年度より新たな制度を導入することを決定しました。

その新制度の大きなポイントは、資格特待生について、これまでは入学時に資格が得られると基本的に4年間継続となっていました。2012年度より対象を1年次のみに限定したことです。

ただし、資格特待の学年進行に伴って生じる原資を基に、次のとおり新しい奨学金制度を設けて経済的支援の充実と意欲向上を図ることが出来るよう配慮しました。

- a 共愛学園ともさくら奨学金：経済的困難な学生を支援
- b 学業奨励奨学金：各コースの成績最上位者に対する奨学金（原則20名）
- c コース学業奨学金：各コースの成績優秀者に対する奨学金
- d ワークスタディ奨学金：2年生以上が対象で学内勤労に対する奨学金
- e インターンシップ奨学金：学内で専門的業務に従事することで得られる奨学金
- f プロジェクト支援奨学金：優秀なプロジェクトに対する奨学金
- g その他、これまでの奨学金の継続と内容の一部変更

今回の特待生・奨学金制度の全面的な見直しにより、具体的な額は未定になりますが2013年度から徐々に奨学金は抑制される見込みにあります。

#### (施設・設備等の充実)

##### ① 1号館2階女子トイレの改修

女子トイレのグレードアップを図るため、年次計画に基づいて1号館2階女子トイレの全面的な改修工事を行いました。

##### ② 1号館演習室の机及び椅子の入替え

2・3階演習室の机と椅子は、重量があり演習室として使用する際の移動には適さず、また、老朽化も進んでいたことから112セット分を買い替えました。

##### ③ パソコン(PC)の入替え

設置済のPCについては、ほぼ耐用年数の5年を経過し不具合も多くなっていることから、国からの1/2相当の補助金を受けて361台買い替えました。

##### ④ iPod Touchの配布

2011年度も大学経費においてiPod Touchを取得し、新入生へ配布しました。

#### (借用地の一部取得)

前橋市からの借用地（グラウンド）一部1,450㎡（439坪）を3,306万円で取得しました。これにより前橋市からの借用地は残り5,849㎡（1,772坪）となり、現在の鑑定価格で試算すると約1億3335万円となります。

(進路の状況)

- ・2011年度卒業生の進路状況は次のとおりです。

就職者	156名
就職未定者	30名
その他	8名
進学者	4名
計	198名

就職率 83.9% (156/186)

- ・就職者の業種別進路と主な企業は次のとおりです。

業種	人数	業種	人数
サービス業	59名	自営業	3名
官公庁	3名	商社	7名
教職員	12名	情報通信業	12名
金融業	5名	製造業	3名
建設業	4名	流通・小売業	48名
		計	156名

## 高校

(人事について)

2011年度は、2010年度に病気による中途退職の教諭が1名、2010年度末普通定年の教諭1名、2011年度中途退職の専任講師1名、2011年度に産休・育休を取得した教諭及び専任講師各1名、2010年度末退職の非常勤講師8名があったため、専任講師2名を採用したほか、非常勤講師から専任講師への任用替2名、非常勤講師8名の採用を行いました。

・教員

年度	専任教諭	専任講師	左の計	非常勤講師
2007	46	12	59	22
2008	46	12	59	21
2009	43	15	59	23
2010	46	12	59	24
2011	46	15	61	24

・職員

年度	専任職員	パート職員	派遣職員	計
2007	5	1	4	10
2008	6		4	10
2009	6		4	10
2010	6	1	3	10
2011	6	1	3	10

(生徒確保と入学の状況)

2010年度より、普通科を英語科と同じく特進コース及び進学コースの2コースに改編し、学力の向上やスポーツ等優秀者の育成に努めました。普通科の改編や特別奨学生選抜入試（特別奨学生制度）について、より一層関係者に熟知されるよう教職員が分担して県内中学校の訪問や、入試広報室を中心とした県内進学塾訪問を行い生徒確保のために努力を行ったこともあり、定員以上を確保することができました。

### 入学概況

	普通科		英語科		計
	特進コース	進学コース	特進コース	進学コース	
定員	230名		130名		360名
応募者	1007 (49)		331 (30)		1338 (79)
合格者	217 (9)	557 (40)	165 (6)	109 (24)	1048 (79)
入学者	27 (9)	225 (40)	41 (6)	70 (24)	363 (79)

※ カッコ内は共愛中学出身者の内数。

(特別奨学生（特待生）制度の充実)

すべての入試に特別奨学生制度が適用されることを周知し、学業優秀者・スポーツ等優秀者の両面から意欲のある生徒を確保し、より活力のある学校づくりを行いました。

特別奨学生（特待生）は定期的（学年末）に学業成績や部活動の様子など継続審査が行われ、年度の途中や年度末に資格を失う場合もあります。

なお、学業特別奨学生よりもスポーツ等特別奨学生が全体に占める割合が高い傾向にあります。

奨学生の内容は次のとおりです。

- ・ 特別奨学生S — 入学時の入学金・施設費及び毎月の授業料・施設維持費を全額免除
- ・ 特別奨学生A — 入学時の入学金と毎月の授業料を全額免除
- ・ 特別奨学生B — 入学時の入学金と毎月の授業料を半額免除。
- ・ 特別奨学生C — 入学金及び授業料の半額を免除
- ・ 特別奨学生D — 入学金の半額を免除

過去5年間の特別奨学生（特待生）の入学実績は下記のとおりです。

	特別奨学生S		特別奨学生A		特別奨学生B		特別奨学生C		特別奨学生D		計
	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	
2007年度	0	0	10	11	8	6					35
2008年度	0	0	6	6	10	9					31
2009年度	0	0	5	11	10	13					39
2010年度	0	0	5	12	3	—	5	18		—	43
2011年度	0	0	6	12	4	—	7	13		—	42

※ 2010年度より学業特別奨学生はSからDまで、スポーツ等特別奨学生はAまたはCのランク付け。

(進路の状況)

上級学校への進学志向は強く、卒業生のうち4年制大学進学者が65%、短大進学者8%、専門学校進学者21%となっており、2010年度と比較すると4年生大学進学者が4ポイント増、短大が1ポイント減少しました。今後も、国公立大学や難関私立大学への合格者数を増やすこと（出口）が、中高生徒の確保（入口）に繋がるために、一層学習指導や進路指導に力を入れていきます。

区分	人数	区分	人数
大学	215名 (65%)	留学予定	5名
短大	28名 (8%)	就職	5名
専門学校	70名	浪人・その他	10名
留学予定	5名	計	333

(施設・設備の充実)

① 高校職員室のPC 65台の更新

2009年度の中学職員室のPC更新に続き、導入後7年が経過し、処理の遅さやモニターほかハード部分ともに不具合が発生しています。この為、高校職員室のPC 65台の更新を行いました。

② 図書館貸出・検索システムの更新

1998年の中高移転時より使用している図書館貸出・検索システム『情報館』のバージョンアップ並びにサーバー機本体の更新を行いました。

③ 新学費管理システムの導入

20年以上にわたり運用してきた学費振替システムのプログラムの対応の限界により、新たに学費振替システムを導入しました。



## 中 学

### (入学の状況)

早期の校外入学説明会、中学校職員の小学校訪問を行った結果、定員を上回る 105 名の入学者を確保することができました。

### 入学概況（入学定員 100 名）

	第 1 回入試		第 2 回	第 3 回	計
	推薦	一般	一般	一般	
応募者	51	64	22	11	148
合格者	51	47	11	4	113
入学者	51	42	8	4	105

### (人事について)

年度	専任教諭	専任講師	助教諭	左の計	非常勤講師
2007	9	4	1	14	6
2008	9	4	1	14	6
2009	9	4	1	14	6
2010	7	6	1	14	6
2011	7	6	1	14	8

### (進路の状況)

卒業者数 83 名中、共愛学園高校に内部進学した生徒は 69 名、他校へ進学を希望した生徒は 14 名おり、いかに内部進学率を高めるかが課題となっています。（他校は、県立前橋女子高 2 名、県立太田女子高 1 名、県立前橋南高 1 名、県立桐生女子高 1 名など。）

年 度	卒業者数	内部進 学者数	外部進学者数						計
			県内 公立	県内 私立	県外 公立	県外 私立	海外 留学	その他	
2006	77	62	9	3	0	2	0	1	15
2007	73	65	4	3	1	0	0	0	8
2008	84	72	4	3	0	4	1	0	12
2009	102	87	1	8	0	5	0	1	15
2010	90	79	5		0	5	0	1	11
2011	83	69	8	2	0	3	1	0	14

## 幼稚園

(教員の増員)

1 クラス増となったことから常勤講師を 1 名増員採用しました。これにより常勤の教員は 7 名から 8 名体制 (園長含む) になりました。

(園児募集)

園児募集を強化するためHPを中心に広報関係の強化を図りました。移転して 6 回目の園児募集となります。

年度当初の入園児及び園児数は次のとおりです。

	入園児	在園児
3 歳児	21 名	27 名
4 歳児	2	28
5 歳児	2	37
	25	92

※ 6 月より開始の満 3 歳児を除く

(課外活動)

園児募集の一環として引き続き課外活動を実施しました。

申込者等の概要は次のとおりです。

	英会話クラブ	絵画造形クラブ	サッカー・ 体操教室	児童英語クラブ
申込者数	約 20 名	24 名	40 名	16 名
講 師	本大学講師	本大学教員	本大学学生	本学教員・学生
開催日数	5 日	5 日	25 日	6 日

※ 体操教室は 2009 年度より開始

(定員増の申請)

2011 年度に現行定員 75 名を 15 名増して 90 名とする申請が認可されました。

しかし、今後の定員増申請は難しい状況にあります。

(組み立て式プールの設置とスノコの入れ替え補修)

前橋市の補助金を受けて実施する計画でしたが、補助金が受けられなかったため、この事業の実施を見送りました。

## 木瀬保育園

### (職員数)

2011年度は特に職員の増減はありませんでした。

### (園児数)

開所3年目当初(4月)の園児数は次のとおりです。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	9名	15名	18名	26名	26名	26名	120名
実員	5名	16名	23名	25名	25名	31名	125名

### (定員増)

2011年度に定員増の申請を行い、2012年度より定員120名から10名増の130名定員が認可されました。

### (施設設備の充実)

保育士も増えて職員室が手狭になっていること、また、ゼロ歳児保育を別棟のきぼう館で行うなどあらゆる面で不便が生じていたため、前橋市の補助金を受けて職員室を増築しました。このほかゼロ歳児用保育室等の改修工事を実施しました。

## 学童クラブ

### (児童の確保)

2011年度より学童クラブを総合グラウンドの管理棟一部施設を臨時使用することにより開所しました。当初は児童14名でスタートしましたが6月に3名の入所があり17名となりました。

このほか夏休み等の長期休暇中の臨時入所者が10名あり、この期間中は総勢27名になりました。人材や施設など共愛の特色を活かした保育活動を行い、地域社会からは一定の評価が得られています。このこともあって2012年度の入所者は25名となる見込みです。

### (移転の準備)

総合グラウンド管理棟において臨時に開所し保育を行っていたが、大学隣接地に(土地155坪、家屋50坪)を取得できたことから、2013年度より一部の改修工事を行って、この位置に移転する予定です。